

令和6年度 家庭科 授業改善推進プラン

大田区立池雪小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・ICT 機器を利用し、調理の仕方について動画を流したり手元をカメラで映しながら実践したりすることで理解を深めることができた。
- ・家庭での取り組みを調査し、学習をしたことをもとにさらに家庭で実践することで学習が生活に結び付いていることが実感できた。
- ・裁縫では、スモールステップで課題を設定して授業を行ったので基礎的な技能の定着に繋がった。

(2) 課題

- ・裁縫では、地域人材のサポートを借りて、より指導が行き届くようにしたが、前段階での打ち合わせや入念な準備等、地域人材の方と連携を図る必要がある。
- ・家庭実践や家庭での調査は、保護者の協力が必要なため家庭との連携が不可欠である。
- ・自分の生活を振り返る学習を取り入れたが、生活経験に差があるため、その中から課題を見出すことが難しい様子だったので、指導の工夫が必要である。

2 授業改善のポイント（観点別）

(1) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・裁縫では、基礎的な技能が身に付くようにスモールステップで課題を設定し、段階的に学習を進められるようにする。 ・実習では「池雪いきいき応援隊」と連携し、支援内容について明確にすることで、技能の定着を図る。 ・ICT 機器を利用し、裁縫や調理の仕方について理解を深められるようにする。	・ICT 機器を活用し、生活の中で体験したこと、調べたことをまとめ、発表し合う活動を通して、思考力・判断力・表現力を育成する。 ・話し合い活動や家庭での実践を報告する時間を設定し、考えを述べたり、友達の考えを聞いたりする場を設けることで、自分の考えを広げられるようにする。	・家庭での生活体験をもとに授業を展開していく。 ・家庭と連携し、学習内容についてのインタビューや実践を行うことで、家族の一員としての自覚を促し、すすんで生活をより良くしようとする態度を育む。